

「公共事業コスト構造改革プログラム」

【 施策名： (2) 計画・設計から管理までの各段階における最適化 【3】 新技術の活用 】

橋梁形式・使用材料の見直しによるコスト縮減

工事名：旭川紋別自動車道 丸瀬布町 丸中橋上部工事

概要：(従来)

2径間連続鋼箱桁(普通鋼材)

(新)

2径間連続合成開断面鋼箱桁(耐候性鋼材)

効果

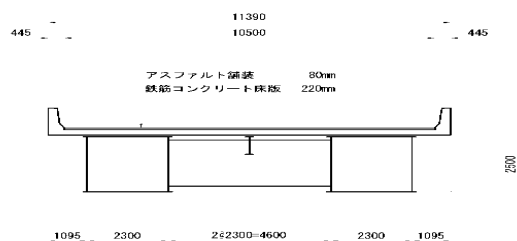
耐久性の高い合成床版を利用した開断面箱桁形式の採用により、主桁本数の削減が可能となり、鋼材重量・製作工数の縮減が図れる。

耐候性鋼材の使用により塗装補修が不要となり、LCCが低減がされる。

製作・架設・維持管理費を、735百万円から593百万円に縮減。

(縮減額 142百万円 縮減率 約19%)

従来工法



新工法

